iriver

取扱説明書
N12

Firmware Upgradable™

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるように保管してください。

はじめに

iriver N12 Series をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品は FM ラジオも聴けるデジタルオーディオプレーヤーです。パソコンから音楽ファイルを転送し、どこへでも音楽を持ち歩いて聴くことができます。また、録音機能によりボイスレコーダーとしてお使いになることもできます。
さらに、音楽だけでなく、写真やドキュメントデータなどパソコン上のいろいろなデジタルデータを持ち歩き可能な外部記憶装置として利用することができます。
本書では、iriver N12 Series の取扱上のご注意をはじめ、操作方法、パソコンでCD から音楽ファイルを作成する方法などを説明しています。iriver N12 Series の機能を最大限に活用していただくために、必ず本書をお読みになり、正しくご使用ください。

ご注意

- 本製品で記録したものを私的な目的以外で、著作権者およびほかの権利者の承諾を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。
- 本製品でのご使用により生じたその他の機器やソフトの損害に対し、当社では一切の責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品およびパソコンの不具合により音楽データが破損、または消去された場合のデータ内容の補償はご容赦ください。
- 記載の外観、および仕様は、改善等のため予告なく変更される場合があります。

取り扱いについてのご注意

製品関連

1 重いものを製品の上に置かないでください。
2 湿気やほこりの多い場所、煙のかかる場所は避けてください。
3 製品が濡れた場合は絶対に電源を入れないで、サポートセンターまでお問い合わせください。
4 2 つ以上のボタンを同時に押さないでください。
5 直射日光の当たる場所や温度が極端に高い／ 低い場所は避けてください。
6 製品を落としたり衝撃を与えたりしないでください。
7 化学薬品や洗浄剤は製品の表面の変色や破損の原因となるため、使用しないでください。
8 幼児、ペットの近くに置かないでください。
9 製品を分解、修理、改造しないでください。
10 データの転送中は USB ケーブルを取り外さないでください。

イヤホンで聴くときのご注意

1 自転車、自動車、オートバイなどの運転中にヘッドホンやイヤホンを使用しないでください。
2 歩行中、特に横断歩道を渡るときは、ボリュームを下げてください。
3 ヘッドホンやイヤホンを使用する際は、ボリュームを下げてください。
4 耳鳴りを感じたら、ボリュームを下げるかまたは使用をおやめください。
5 ヘッドホンやイヤホンのコードが電車や車のドアなどに挟まれることのないよう、きちんとまとめておいてください。

目次

はじめに 2
取り扱いについてのご注意 3
パッケージ内容 5
各部のなまえとボタン操作 6
データファイルを持ち運ぶ 8

1. 準備 9
プレーヤーをパソコンに接続して充電する 9
ソフトウェアをインストールする 10
CD から音楽ファイルを作成する 12
音楽ファイルをプレーヤーに転送する 14

2. 再生する 16
音楽ファイルを再生する 16
再生中のボタン操作 17
再生中の画面表示 17
再生モードを設定する（リピート／シャッフル） 18
A から B までを繰り返し再生する（A-B 区間リピート） 20
イコライザで音質を設定する 21
iQuicklist に追加する 23
ファイル・フォルダを削除する 24

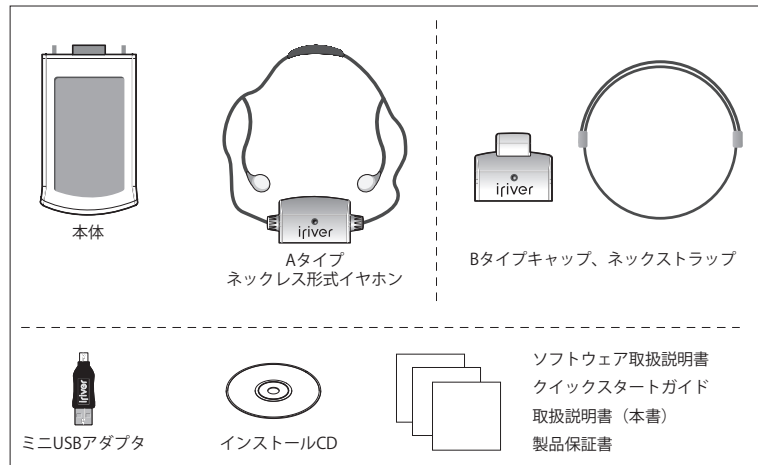
3. FM ラジオチューナー 25
FM ラジオを聴く 25
プリセットを登録する 26

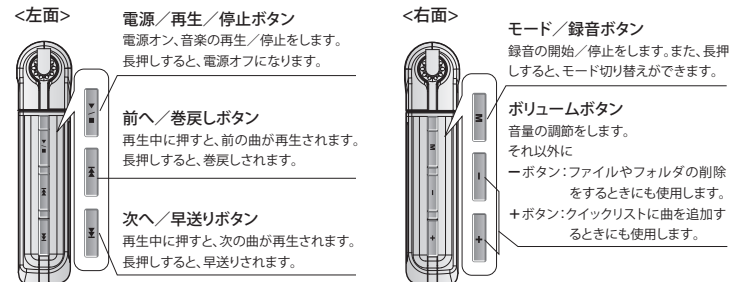
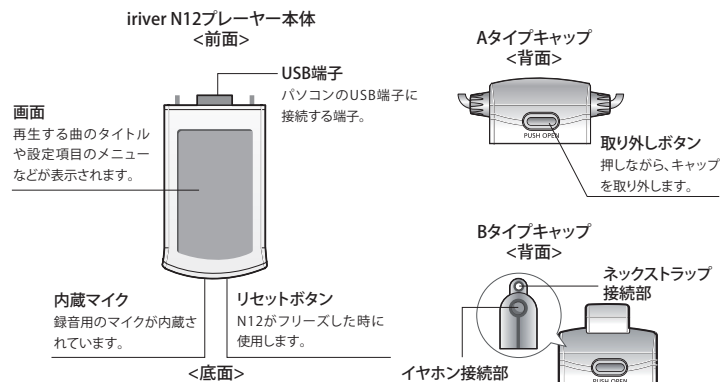
4. 録音 29
FM ラジオ放送を録音する 29
録音した FM 放送を聴く 30
内蔵マイクで音声を録音する 31
録音した音声ファイルを聴く 32

5. 設定 33
各種の設定変更 33
設定メニューを変更するときの操作 34
設定一覧 35
サウンド設定 35
表示設定 37
録音設定 39
タイマー設定 40
拡張設定 42
ファームウェアのアップグレード 44
プレーヤーのフォーマット 45

6. その他 46
困ったときは／トラブルシューティング 46
サポート／お問い合わせ窓口 49
製品仕様 50

パッケージ内容

iriver N12 Series 本体のほかに以下の付属品が含まれていることをご確認ください。

ネックストラップをプレーヤーに取り付ける方法

①ネックストラップの端を持ち、矢印の方向にずらします。

②ずらしたストラップを金具から外します。（少し力が必要です）外れたら、もう一つの金具からも同様に外します。ストラップは一本の紐になっています。

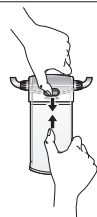
③金具をプレーヤーのネックストラップの穴に通します。外したときとは逆の順序で、ストラップの端を両方の金具にはめます。金具を動かして、長さを調節すれば、完了です。

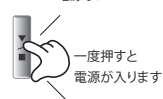
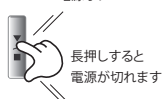
各部のなまえとボタン操作

本体とAキャップの接続方法

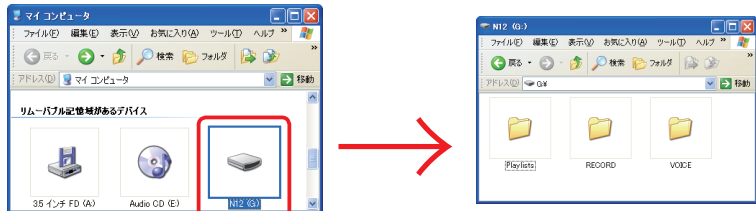
本体とパソコンの接続方法

本体とAキャップを外します。

付属のミニUSBアダプタの小さい端子をN12に挿し、大きい方をパソコンのUSB端子に差し込みます。

ボタン操作について

本書で「長押し」と表記されるボタン操作は、ボタンを押す際に2秒くらい押し続ける操作のことを言います。

電源オン／オフ

データファイルを持ち運ぶ

「マイコンピュータ」―「N12」をダブルクリックして開きます。

N12 の中はこのようなフォルダ構成となります。

■デジタルデータを持ち運ぶ

転送したいファイルまたはフォルダを選択し、N12 のアイコンにドラッグ＆ドロップします。

■録音したファイルを管理する

＊パソコンにコピーする

「VOICE」または「RECORD」フォルダに保存されたファイルをドラッグ＆ドロップでパソコンのハードディスク内にコピーすることができます。

＊ファイル名を変える

「VOICE」または「RECORD」フォルダに保存されたファイルの名前は､右クリックで「名前の変更」を選択して、オリジナルのファイル名に変えることができます。

＊フォルダを移動する

「VOICE」または「RECORD」フォルダに保存されたファイルはレジューム再生ができません。別のフォルダや階層に移動することでレジューム再生が可能になります。

1 プレーヤーをパソコンに接続して充電する

- 必ずプレーヤーの再生が停止している状態で接続してください。
- お使いのパソコンによっては、USB ケーブル（別売）が必要になる場合があります。

1 本体とキャップを取り外します。

取り外し方は 6 ページをご覧ください。

2 ミニ USB アダプタを使用し、パソコンと接続します。

付属のミニ USB アダプタの小さい端子を N12 に挿し、大きい方をパソコンの USB 端子に差し込みます。
プレーヤーの電源が入り、画面に「USB で接続中」と表示され、画面のバッテリインジケータが点滅します。

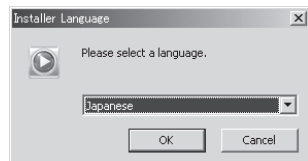
3 充電が完了するとバッテリインジケータが点灯します。

バッテリ充電について

iriver N12 Series はパソコンの USB 端子に接続すると、自動的に充電が行われます。
充電所要時間は約 1.5 時間（完全放電、再生停止の状態での標準時間）です。
充電マークが常時点灯すると、フル充電完了です。

2 ソフトウェアをインストールする

• 音楽の転送に必要な iriver plus 2 をパソコンにインストールします。

iriver plus 2 に必要なパソコンの動作条件は次の通りです。なお、インターネット接続環境が必要です。

OS：Windows 2000/XP Home, Pro　　CPU：Pentium 300MHz 以上
RAM：128MB 以上　　モニタ：SVGA、800 X 600 ドット以上
Microsoft Internet Explorer 6 以上

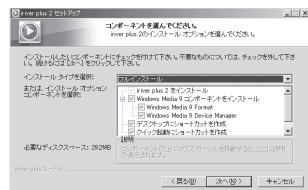
＊ iriver plus 2 は「Administrator」（管理者）権限をもつユーザーでログオンして、インストールを行ってください。

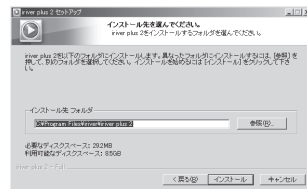
1 パソコンの CD-ROM ドライブに付属のインストール CD をセットします。

CD-ROM が自動認識され、インストールメニューが表示されます。
表示されない場合は「iriver2_setup_full.exe」をダブルクリックしてください。

使用する言語を選ぶ

2 画面のメッセージにしたがって手順を進めます。

• 「ライセンス契約書」は内容をよくお読みになり、［同意する］をクリックしてください。
• コンポーネントの選択画面では、はじめてインストールする際は［フルインストール］を選択してください。

コンポーネントの選択画面

• インストール先を選択できます。とくに変更する必要はありません。
• インストールオプションの選択では、iriver plus 2 に関連付けるファイルの種類を選択できます。とくに変更する必要はありません。ここで選択したファイルをダブルクリックすると、iriver plus 2 が起動するようになります。

インストール先の選択画面

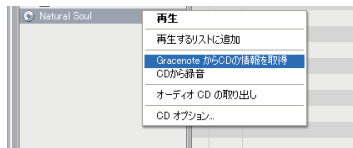
3 インストールの完了画面が表示されたら、［完了］をクリックします。

デスクトップに iriver plus 2 のアイコンが表示されます。

• アップグレードの確認メッセージが表示されたら、「はい」をクリックして最新版のインストールを行ってください。

インストールの完了画面

これで、音楽ファイルを管理するための専用ソフトウェア iriver plus 2 がインストールできました。続いてプレーヤーをパソコンに接続します。プレーヤーをパソコンに接続する際は、再生が停止している状態で行ってください。

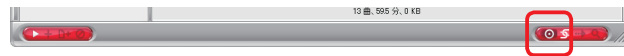
3 CD から音楽ファイルを作成する

・オーディオ CD をパソコンにセットして、iriver plus 2 で音楽ファイルを作成します。
・再生中は録音できません。音楽の再生を停止してから録音してください。
・録音された音楽は、ライブラリの［すべての音楽］に表示されます。曲のタイトルをダブルクリックすると、パソコンで音楽を再生できます。
・録音された音楽は、WMA 形式のファイルとしてパソコンの「マイ ドキュメント」の「マイ ミュージック」フォルダに保存されます。

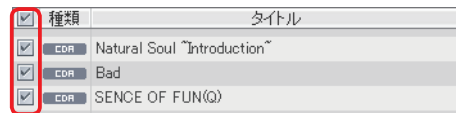
準備

1 オーディオ CD をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

しばらくして、CD の音楽情報がメディアライブラリに表示されます。
CD の音楽情報が自動的に表示されない場合は、CD のアイコンを右クリックして、「Gracenote から CD の情報を取得」を選択します。

2 曲情報を取得します。

CD トラックの楽曲情報が自動で表示されない場合は、CD のアイコンを右クリックし、［Gracenote から CD の情報を取得］をクリックします。インターネットの Gracenote CDDB（CD データベース）から音楽情報を検索して取得できます。

＊この機能を使用するには、お使いのパソコンがインターネットに接続されている必要があります。

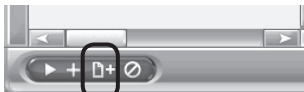
3 録音する曲をチェックします。

4 ［CD から録音］ボタンをクリックして録音を開始します。

5 ［開始］ボタンをクリックします。

トラック情報の編集ウィンドウが表示されます。タイトルやアーティスト名、アルバム名などの情報が正しければ、［開始］をクリックします。
録音中は一曲ずつ録音経過状態が表示されます。

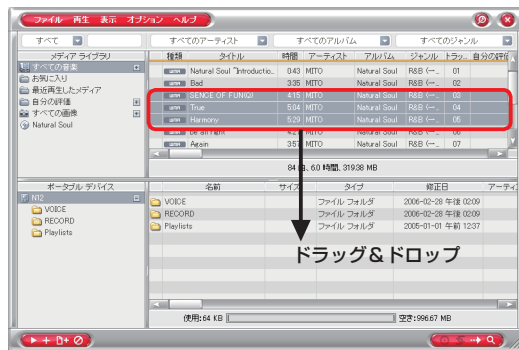
準備

準備

4 音楽ファイルをプレーヤーに転送する

・iriver plus 2 を使ってパソコンからプレーヤーへ音楽ファイルを転送します。
・安定した品質で録音するために、音楽の再生を停止して録音することをおすすめします。
・ここでは、iriver plus 2 のインストール、パソコンとプレーヤーの接続、音楽ファイルの作成が完了していることを前提として説明します。

〈注意〉・プレーヤーの空き容量が不足していると、転送が中断されます。
・パス名＋ファイル名が半角で 511 文字を超えるファイルは転送できません。

1 プレーヤー（N12）のアイコンを選択した状態で［新しいプレイリスト／新規フォルダ］ボタンをクリックし、新規フォルダを作成します。

プレーヤー（N12）のアイコンを右クリックして［新規フォルダ］を選択することもできます。

［新しいプレイリスト／新規フォルダ］ボタン

フォルダ名を入力すると、プレーヤー（N12）の下層に新規フォルダができます。

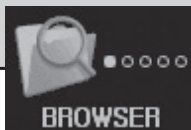
2 新規フォルダを選択した状態で、曲のタイトルをプレーヤー側にドラッグ＆ドロップします。

複数の曲を選択するときは、Ctrl キーを押したまま曲をクリックします。
音楽ファイルの転送がはじまり、数分して転送が完了します。

・フォルダの下層に新しいフォルダを作成することにより、フォルダを階層化できます。フォルダ数 500、ファイル数 1000、最大８階層のフォルダに対応しており、プレーヤーでツリー構造に表示することができます。
・プレーヤーには「VOICE」「RECORD」フォルダがあります。これは、音声録音や FM ラジオの録音などで生成された音声ファイルを保存するために用意されているものなので、音楽ファイルは、それ以外の場所にドラッグ＆ドロップすることをおすすめします。

準備

音楽ファイルを再生する

• あらかじめプレーヤーに音楽ファイルを転送しておく必要があります。「準備」(P.9 ～ 15)をお読みください。

1 電源が入っていない場合は、▶/■を押して電源を入れます。

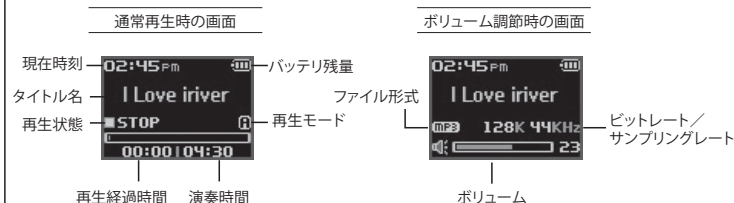
直前に使用していたモードの画面が表示されます。
▶/■を押すと、直前に聴いていた曲から連続再生されます。再生する曲を探すときや、音楽以外のモード画面が表示されたときは、次の手順に進みます。

2 [BROWSER] モードに切り替えます。

Mを長押しすると、モード選択の状態になります。|◀◀または▶▶|を押して[BROWSER]モードに切り替え、▶/■で決定します。
プレーヤーに保存されているフォルダ(プレイリスト)とファイルが一覧表示されます。

3 再生する曲をボタン操作で探します。

曲を選ぶ
▶▶|:上に移動
|◀◀:下に移動:

フォルダ(プレイリスト)を移動する
M:上の階層に移動、元の画面に戻る
▶/■: 下の階層に移動

4 ▶/■を押すと、選択した曲が再生されます。

再生中のボタン操作

▶/■ :再生/一時停止

ボリュームを調節する
＋:ボリュームを上げる
ー:ボリュームを下げる

前の曲/次の曲を再生する
|◀◀:前の曲を再生
▶▶|:次の曲を再生

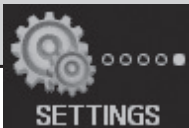
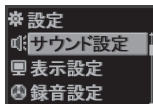
早送り/巻戻しする
|◀◀を長押し:巻戻し
▶▶|を長押し:早送り

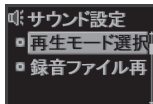
再生中の画面表示

再生中の画面表示は以下のようになっています。タイトルが長い場合はスクロール表示されます。スクロールの方向と速度は設定を変えることができます。 スクロール速度→ P.37

音楽ファイルを再生する

再生モードを設定する

• 通常はプレーヤーに保存した全曲を登録した順番で再生しますが、特定の曲だけを繰り返したり、ランダムな順番で再生することができます。

1 ［SETTINGS］モードに切り替えます。

Mを長押しすると、モード選択の状態になります。|◀◀または▶▶|を押して［SETTINGS］モードに切り替え、▶/■で決定します。

2 |◀◀ または ▶▶| で［サウンド設定］を選び、▶/■で決定します。

サウンド設定のメニュー画面が表示されます。

3 |◀◀ または ▶▶| で［再生モード選択］を選び、▶/■で決定します。

再生モード選択画面が表示されます。

4 |◀◀ または ▶▶| で再生モードを選択して、▶/■で決定します。

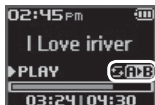
選択した再生モードが適用されます。

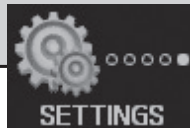
再生モードの種類

再生モードの種類は以下のとおりです。

通常再生	A	すべての曲が再生される
	D	フォルダ内の曲が再生される
リピート	↻1	1曲が繰り返し再生される
	↻A	すべての曲が繰り返し再生される
	⇄D	フォルダ内の曲が繰り返し再生される
シャッフル	SA	すべての曲がランダムな順番で再生される
	SD	フォルダ内の曲がランダムな順番で再生される
シャッフルリピート	S↻A	すべての曲がランダムな順番で繰り返し再生される
	S↻D	フォルダ内の曲がランダムな順番で繰り返し再生される

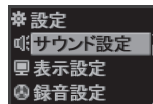
A から B までを繰り返し再生する〈A-B 区間リピート〉

• 再生中に開始位置 (A) と終わりの位置 (B) を指定することにより、A-B の間だけを繰り返し再生することができます。

1 音楽の再生中に M を押し、開始点を指定します。

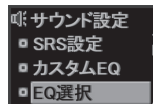
リピートする区間の開始点 (A) が指定され、画面に A のアイコンが表示されます。

2 再度、音楽の再生中に M を押し、終点を指定します。

リピートする区間の終了点 (B) が指定され、画面に A-B のアイコンが表示されます。
A-B 区間の再生が繰り返し再生されます。

• A-B 区間リピートの解除は、再生中に再度 M を押すと、通常の再生に戻ります。

イコライザで音質を設定する

• EQ（イコライザ）とは、低音／中音／高音の領域ごとに強弱を調節して、それぞれの楽曲に適した音のバランスを設定するしくみをいいます。通常は［NORMAL］に設定されています。
• 再生中に設定を変えて、サウンドを視聴しながら操作できます。

1 ［SETTINGS］モードに切り替えます。

M を長押しすると、モード選択の状態になります。⏮または⏭を押して［SETTINGS］モードに切り替え、▶/■ で決定します。

2 ⏮ または ⏭ で［サウンド設定］を選び、▶/■で決定します。

サウンド設定のメニュー画面が表示されます。

3 ⏮ または ⏭ で［EQ 選択］を選び、▶/■で決定します。

再生モード選択画面が表示されます。

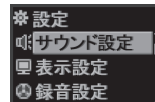
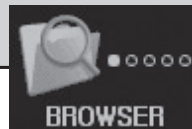
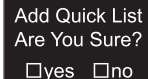
4 ⏮ または ⏭ で EQ を選択して、▶/■で決定します。

再度、設定を変更するまで選択した EQ が適用されます。

⇒次ページへ

EQ の種類と特長

EQ（イコライザ）は 12 種類あり、以下のような特長があります。

名称	特長
NORMAL	癖のない標準的な設定
CLASSIC	クラシック音楽に適した設定
LIVE	ライブ音源に最適
POP	やや重低音を増強し、リズムパートを強調
ROCK	ロックに適した、ボーカルを強調する
JAZZ	ピアノの音を美しく、透明感ある音質
U BASS	バス音域が強調され、重低音を楽しめる
METAL	歪みが目立つ感じ
DANCE	ダンス系に適した、パーティ会場を音を再現
PARTY	パーティー会場にいるような感じ
SRS（p.00 参照）	音響に立体感を持たせる 3D サウンドモード
USER EQ（p.00 参照）	「サウンド設定」で変更したカスタム EQ を使用する

iQuicklist に追加する

- iQuicklist（クイックリスト）を作成すると、プレーヤーに転送したすべての楽曲からお好みの曲だけを選んでリストを作成することができます。
- 音楽再生中はこの操作はできません。停止して行ってください。

1 ［BROWSER］モードに切り替えます。

表示されるファイルリストの中からクイックリストに追加したい曲を⏮または⏭で探します。

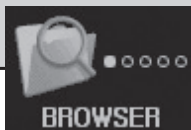
2 追加したい曲で ＋ を押します。

3 確認のメッセージが表示されたら［YES］を選択して、▶/■ で決定します。

Add Quick List
Are You Sure?
□yes □no

補足

- 作成されたクイックリストは iQuicklist.pla として N12 の最上位階層に保存されます。
- クイックリストリスト内の曲は ━ ボタンで削除できます。（この場合、曲はクイックリストから削除されますが、実際のファイルはプレーヤーから削除されません。）
- 再生モードは 0／⟳1／⇄0／S0／S⟳0 のみ選択可能です。→ P.36
- VOICE および RECORD フォルダ内のファイルはクイックリストに追加できません。

ファイル・フォルダを削除する

- ファイル、フォルダの削除は同じ操作で行うことができます。ここでは、ファイルの削除の説明をします。
- ファイルの再生中は削除できません。再生を停止してから操作を行ってください。
- フォルダの削除は、フォルダが空の状態でないとできません。

1 **電源が入っていない場合は、▶/■を押して電源を入れます。**

2 **［BROWSER］モードに切り替えます。**

Mを長押しすると、モード選択の状態になります。⏮または⏭を押して［BROWSER］モードに切り替え、▶/■で決定します。
プレーヤーに保存されているフォルダ（プレイリスト）とファイルが一覧表示されます。

3 **削除する曲をボタン操作で探します。**

曲を選ぶ
⏭：上に移動
⏮：下に移動：

フォルダ（プレイリスト）を移動する
M：上の階層に移動、元の画面に戻る
▶/■： 下の階層に移動

4 **削除したい曲で━を押します。**

5 **確認のメッセージが表示されたら［YES］を選択して、▶/■で決定します。**

FMラジオを聴く

- イヤホンがアンテナの役割をするため、必ずイヤホンを接続してからご使用ください。また、電波の弱い地域では、一部の放送をご利用になれないか、受信状態が悪い場合があります。
- FM 放送を受信するには、放送局をあらかじめ登録しておき、その中から選局する方法（プリセットモード）と周波数を手動で合わせて選局する方法があります。

■［FM RADIO］モードに切り替えます。

手動での選局

［PRESET］を解除します。

①画面に［PRESET］の表示がある場合は、▶/■で［PRESET］を解除します。
②⏮または⏭を押して希望の放送局に周波数を合わせます。

＜受信中のボタン操作＞

- ⏮／⏭を短く押して放すと、周波数を 0.1Hz ずつ変更します。
- ⏮／⏭を長押しすると受信可能な放送局が見つかるまで、自動的に周波数を変更し続けます。

プリセットでの選局 （プリセットの登録方法→ P.26）

［PRESET］モードにします。

①▶/■を押して［PRESET］モードにします。
②⏮または⏭を押してプリセットした放送局に切り替えます。

プリセット登録をする

- ラジオ局の周波数は地域によって異なるため、あらかじめ周波数を登録しておくと便利です。最大で 20 局まで登録できます。
- iriver plus 2 を使ってプリセットを登録することもできます。詳しくは iriver plus 2 の取扱説明書をご覧ください。

自動でプリセットを登録する

- ＦＭ放送の全周波数を検索して、受信可能な放送局を順次プリセットに登録します。

1 ラジオ放送の受信中に、**M** を押してサブメニューを表示します。

2 ⏮ または ⏭ で［AUTO SAVE］を選び、▶/■ を押します。

受信できる放送局を検索し、順番にプリセット登録をします。
検索中に ▶/■ を押すと中断します。

手動でプリセットを登録する

1 ［PRESET］モードを解除し、プリセット登録したい放送局の周波数に合わせます。

2 放送の受信中に、**M** を押してサブメニューを表示します。

3 ⏮ または ⏭ で［SAVE CHANNEL］を選び、▶/■で決定します。

4 ⏮ または ⏭ で空いているチャンネル番号に移動し、▶/■ ボタンを押すと、受信中の放送局が登録されます。

■：すでに登録済みのチャンネル
□：空いているチャンネル

5 **M** ボタンを押すと、チャンネル保存画面から出ることができます。

登録したプリセットを削除する

1 ラジオ放送の受信中に、**M** を押してサブメニューを表示します。

2 ⏮ または ⏭ で［DELETE CHANNEL］を選び、▶/■ で決定します。

3 ⏮ または ⏭ で削除したいチャンネルを選び、▶/■ ボタンを押して削除します。

ステレオ／モノラルの切り替え

1 ラジオ放送の受信中に、M を押してサブメニューを表示します。

2 ⏮ または ⏭ で［STEREO ON］または［STEREO OFF］を選択して、▶/■ を押します。

ステレオとモノラルが切り替わります

□ RECORDING
□ DELETE CHANNEL
□ AUTO SAVE
▣ STEREO OFF

FM 放送を録音する

- バッテリやメモリの空き容量が不足している場合は、録音の途中で自動停止しますので、ご注意ください。
- 録音中は音量の調節ができません。

1 FM 放送受信中に M を押して、サブメニューを表示します。

▣ RECORDING
□ SAVE CHANNEL
□ AUTO SAVE
□ STEREO ON

2 ⏮ または ⏭ で［RECORDING］を選び、▶/■ を押します。

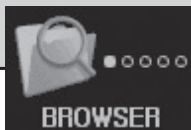
録音が開始されます。

録音中に▶/■ を押すと録音が一時停止されます。一時停止から録音を再開した場合、同じファイルに録音が保存されます。

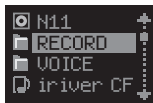
3 M を押すと、録音を終了し、ファイルを保存します。

参考

録音されたファイルは［RECORD］フォルダに保存されます。
ファイル名は TMMDDXXX.MP3（MM：月、DD：日、XXX：保存番号）となります。
ファイル名は録音後に変更できます。（→ P.8）
［SETTINGS］メニューの［FM 録音設定］で録音音質の設定ができます。（→ P.39）

録音した FM 放送を聴く

1 ［BROWSER］モードに切り替えます。

Mを長押しすると、モード選択の状態になります。|◀◀または ▶▶| を押して［BROWSER］モードに切り替え、▶/■ で決定します。

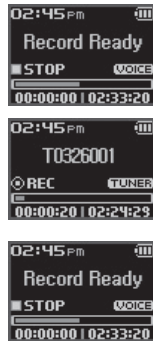
2 |◀◀ または ▶▶| で［RECORD］フォルダを選び、▶/■ を押します。

3 リストから再生したいファイルを選び、▶/■ を押します。

曲を選ぶ
▶▶|：上に移動
|◀◀：下に移動

フォルダ（プレイリスト）を移動する
M：上の階層に移動、元の画面に戻る
▶/■： 下の階層に移動

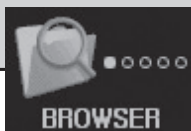
参考

［RECORD］フォルダ内のファイルはレジューム再生ができません。また、iQuicklist にも追加することができません。しかし、これらの操作は、録音したファイルを移動することで可能になります。（→ P.8）

内蔵マイクで音声を録音する

- バッテリやメモリの空き容量が不足している場合は、録音の途中で自動停止しますので、ご注意ください。
- 録音中は音量の調節ができません。
- 録音中、マイクとの間に適切な距離を置いてください。

1 ［RECORDING］モードに切り替えます。

Mを長押しすると、モード選択の状態になります。|◀◀または ▶▶| を押して［RECORDING］モードに切り替え、▶/■ で決定します。録音スタンバイの画面が表示されます。

2 Mを押すと、音声録音が開始されます。

録音中に▶/■を押すと録音が一時停止されます。
一時停止から録音を再開した場合、同じファイルに録音が保存されます。

3 M を押すと、音声録音を終了し、録音スタンバイ画面が表示されます。

参考

録音されたファイルは［VOICE］フォルダに保存されます。
ファイル名は VMMDDXXX.MP3（MM：月、DD：日、XXX：保存番号）となります。
ファイル名は録音後に変更できます。（→ P.8）
［SETTINGS］メニューの［音声録音設定］で録音音質の設定ができます。（→ P.39）

録音した音声ファイルを聞く

1 ［BROWSER］モードに切り替えます。

Mを長押しすると、モード選択の状態になります。⏮または ⏭ を押して［BROWSER］モードに切り替え、▶/■ で決定します。

2 ⏮ または ⏭ で［VOICE］フォルダを選び、▶/■ を押します。

3 リストから再生したいファイルを選び、▶/■ を押します。

曲を選ぶ
⏭：上に移動
⏮：下に移動

フォルダ（プレイリスト）を移動する
M：上の階層に移動、元の画面に戻る
▶/■： 下の階層に移動

参考

［VOICE］フォルダ内のファイルはレジューム再生ができません。また、iQuicklist にも追加することができません。しかし、これらの操作は、録音したファイルを移動することで可能になります。（→ P.8）

各種の設定変更

SETTINGS

• 利用スタイルやお好みに合わせて、各種の設定を変更できます。
〈注意〉設定メニューは、ファームウェア（プレーヤーの基本ソフト）のバージョンによって異なる場合があります。最新バージョンにアップグレードしてお使いになることをおすすめします。
ファームウェアをアップグレードする　→ P.44

設定メニューは下図のように２階層で構成されています。

設定メニューを変更するときの操作

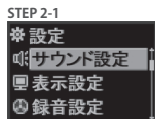
• 設定の各操作は各項目とも基本的に共通です。ここでは［カスタム EQ］を例に説明しますので、参照して必要な設定をしてください。

1 ［SETTINGS］モードに切り替えます。

Mを長押しすると、モード選択の状態になります。|◀◀または ▶▶| を押して［SETTINGS］モードに切り替え、▶/■ で決定します。

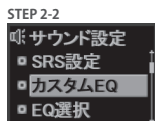
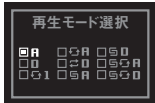
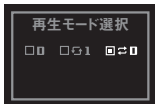
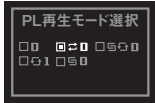
2 |◀◀ または ▶▶| で設定したいメインメニューを選び、▶/■を押します。

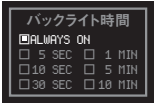
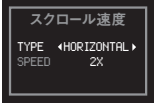
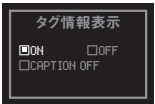
サブメニューが表示されます。

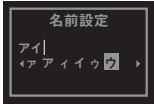
STEP 2-1

3 サブメニューリストから設定したい項目に|◀◀ または ▶▶| で移動し、▶/■を押します。

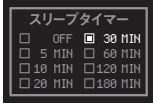
• |◀◀　▶▶| ：サブメニュー内を移動

• ▶/■ ：決定（設定）

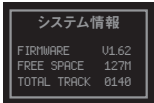
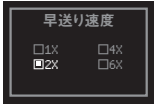
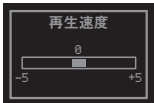
STEP 2-2

4 **M** を押すと 1 つ前の画面に戻ります。

Mを繰り返し押すことによって、設定モードを終了することができます。

STEP 3

設定一覧

項　目	解　説
サウンド設定	
SRS 設定 SRS設定 SRS 05 FOCUS MID TRUBASS 06 BOOST 60	SRSは立体的な音響効果の技術。4 タイプの立体効果のレベル設定ができる。 SRS：仮想 3 次元音響効果の値を設定します FOCUS：サウンドの鮮明度を設定します TRUBASS：低音強調の値を設定します BOOST：イヤホンの特性に応じて、サウンドのブースト（増幅）値を設定します
カスタム EQ	周波数帯ごとにレベル調整して独自の音響効果を設定する。 周波数レベル -15dB ～ +15dB
EQ 選択 	低音／中音／高音の領域ごとに強弱を調節して、それぞれ楽曲に適した音のバランスを設定したイコライザを12タイプから選択する。 NORMAL：標準　　CLASSIC：クラシック音楽に特化 LIVE：ライブ音源に最適　POP：重低音が若干強調されリズミカルな感じ ROCK：ロック向けにボーカルが強調される JAZZ：ピアノの音がきれいで透き通った感じ U BASS：バスが強調され重低音が楽しめる METAL：歪みが目立つ感じ　　DANCE：音が若干濁り重低音が目立つ PARTY：パーティー会場にいるような感じ SRS：3D サウンドモード　USER EQ：ユーザによる設定

項　目	解　説
再生モード選択	音楽ファイルの再生方法を設定する。 通常再生：A すべての曲が再生される／D フォルダ内の曲が再生される リピート：↻1 1曲が繰り返し再生される／↻A すべての曲が繰り返し再生される／⇄D フォルダ内の曲が繰り返し再生される シャッフル：SA すべての曲がランダムな順番で再生される／SD フォルダ内の曲がランダムな順番で再生される シャッフルリピート：S↻A すべての曲がランダムな順番で繰り返し再生される／S↻D フォルダ内の曲がランダムな順番で繰り返し再生される
録音ファイル 再生モード	FM 放送の録音や内蔵マイクで録音したファイルの再生方法を設定する。 D フォルダ内のすべてのファイルが再生される ↻1 1つのファイルが繰り返し再生される ⇄D フォルダ内のすべてのファイルが繰り返し再生される
PL（プレイリスト） 再生モード	作成したプレイリストの再生方法を設定します。 D プレイリスト内の曲が再生される ⇄D プレイリスト内の曲が繰り返し再生される S↻D プレイリスト内の曲がランダムな順番で繰り返し再生される ↻1 1曲が繰り返し再生される SD フォルダ内の曲がランダムな順番で再生される

項　目	解　説
表示設定	
バックライト時間	画面のバックライトの点灯継続時間を設定する。 時間を短く設定することにより、バッテリを節約できる。 ALWAYS ON／常時点灯 5 SEC（5 秒）／10 SEC（10 秒）／30 SEC（30秒） 1 MIN（1 分）／5 MIN（5 分）／10 MIN（10分）
スクリーンセーバー	操作されていない状態が設定した時間続くとスクリーンセーバーが自動的に起動する。 • 設定可能時間 常時点灯／10 SEC（10 秒）／30 SEC（30秒）／1 MIN（1 分）／3 MIN（3分） • スクリーンセーバーの種類 IGUY／THUNDER／IRIVER／SPECTRUM
スクロール速度	文字情報（曲名、アーティスト名）のスクロールタイプとスクロール速度を調節する。 • スクロールタイプ： SCROLL（文字が流れる） VERTICAL（垂直） HORIZONTAL（水平） • 速度：SLOW（低速）/NORMAL（通常）/FAST（高速）
タグ情報表示	タグ情報を利用した音楽ファイルの情報や歌詞表示のいずれかを選ぶことができる。 ON：タグ情報もしくは歌詞を表示する OFF:タグ情報を表示しない（ファイル名のみが表示される） CAPTION OFF:タグ情報を表示する タグ情報がない曲の場合は、ファイル名のみの表示となります。

項　目	解　説
言語設定 言語設定 ■JAPANESE □KOREAN □LATVIAN □LITHUANIAN	設定メニューの表示言語を 40 種類から選択する。 初期設定は JAPANESE 、アルファベット順に国名が表示される。
名前設定 名前設定 アイ| ァ ア ィ イ ゥ ウ	プレーヤーの電源を入れたときの画面に、設定した文字が表示される。 ・ ⏮ または ⏭ で文字を選択して、▶/■ で決定。 ・ ＋／－ で入力位置を左右に移動 ・ 入力した文字を削除するときは － を長押しする。 ・ 文字種（カナ／英数字／記号）を切り替えるときは ＋ を長押しする。 ・ スペースは数字の「9」と「!」のあいだのスペース記号で入力。 ・ M ボタンを押して設定を終了する。
画面コントラスト 画面コントラスト 20 0　40	画面のコントラスト（明暗の差）を調節する。 ・ ⏮ または ⏭ で調節します。 ・ 0（暗）～ 40（明）の範囲

項　目	解　説
録音設定	
FM 録音設定 FM録音設定 □HIGH ■MIDDLE □LOW	FM 録音の音質を設定する。 HIGH：高音質（256Kbps） MIDDLE：標準（128Kbps） LOW：低音質（64Kbps）
音声録音設定 音声録音設定 ■HIGH □MIDDLE □LOW	音声録音の音質を設定する。 HIGH：高音質（128Kbps） MIDDLE：標準（64Kbps） LOW：低音質（32Kbps）
音声自動認識 音声自動認識 LEVEL ◂OFF▸ TIME(SEC) OFF	無音のときは録音が自動的に一時停止、音を感知すると録音を再開する。これにより、自動で音がある時だけ録音でき、メモリの節約ができる。 LEVEL　：OFF（音声自動認識の設定をしない） 音声認識のレベル〈01/02/03/04/05〉から指定 （数値が小さいほど小さな音にも反応） TIME(SEC)：無音が何秒続くと一時停止するかを 〈01/02/03/05/10〉から秒数で指定

各種の設定変更

項　目	解　説
タイマー設定	
電源オフタイマー	プレーヤーが停止状態で一定時間を過ぎると自動的に電源が切れる設定。 1/2/3/5/10/20/30/60（分）
スリープタイマー	一定時間を過ぎると自動的に電源が切れる設定。 OFF：スリープ設定をしない 5/10/20/30/60/120/180 MIN（分）
日付と時刻	現在の日付と時刻を設定する。 • ⏮ または ⏭ で数字を選択して、▶/■ で決定。
アラーム /FM 録音	アラームまたは FM タイマー録音を有効にする設定 OFF：アラーム/FM録音の設定を解除する ALARM：アラームの設定を有効にする FM RECORDING：FM 録音の設定を有効にする 〈注意〉アラームとFMタイマー録音を同時に使用することはできません。

項　目	解　説
アラーム時刻設定	アラームが作動する時刻と繰り返しの設定をする。 • 設定可能な曜日 DAILY（毎日） MON-SAT（月〜土） MON-FRI（月〜金） SAT（土） SUN（日）
FM タイマー録音	指定した時刻に FM ラジオの録音を開始する。 設定が有効である限り、毎日同時刻に FM ラジオの録音が開始される。 • 設定可能な曜日 DAILY（毎日） MON-SAT（月〜土） MON-FRI（月〜金） SAT（土） SUN（日） • 録音可能な時間 10分〜240分の間で10分単位で録音できる

項　目	解　説
拡張設定	
レジューム レジューム ■ON □OFF	電源オフ、再生を停止した後、ふたたび再生するときに、直前に再生していた曲から開始される。 ON：有効 OFF：無効 ※ N12 で録音した音声ファイル、FM チューナー録音ファイルはレジューム機能は使用できません。
システム情報 システム情報 FIRMWARE V1.62 FREE SPACE 127M TOTAL TRACK 0140	製品の情報を確認する。 FIRMWARE：ファームウェアのバージョン FREE SPACE：メモリ残量 TOTAL TRACKS：保存されたすべての音楽ファイル数
早送り / 巻戻し速度 早送り速度 □1X □4X ■2X □6X	早送りや巻戻しの速度を設定する。 1X ／ 2X ／ 4X ／ 6X（倍速）（1 が通常の再生スピード）
再生速度 再生速度 0 -5 +5	再生速度を設定する（語学学習に有効）。 -5（遅い）～ +5（速い）の範囲 （0 が通常の再生スピード）

項　目	解　説
学習機能 学習機能 □ OFF ■ 30 SEC □ 5 SEC □ 60 SEC □10 SEC □120 SEC □20 SEC □180 SEC	再生中に⏮または ⏭ボタンで移動する時間を設定（語学学習に有効）。スタディモードが設定されると「S」のアイコンが表示されます OFF：無効 3/10/20/30/60/120/180 SEC（秒） 設定有効時は、前／次の曲には移動できません
初期設定に戻す 初期設定に戻す ARE YOU SURE? □YES ■NO	設定メニューで設定した内容を出荷時の状態に戻す。 設定を初期化したあとは、自動で再起動されます。 初期設定に戻しても、プレーヤーに保存されたデータが削除されることはありません。 YES：実行 NO：中止
フォーマット フォーマット ARE YOU SURE? □YES ■NO	プレーヤーのメモリに保存されているデータを完全に消去し初期化する。 〈注意〉フォーマットの前に必ずパソコンにバックアップをとってください。消去したデータを復旧することはできません。 YES：実行　　NO：中止

各種の設定変更

各種の設定変更

ファームウェアのアップグレード

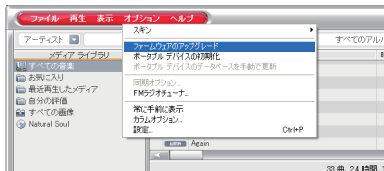
• ファームウェア（プレーヤーの基本ソフトウェア）をアップグレードすることで、最新の機能や追加された機能を使用することができます。常に最新バージョンのファームウェアをお使いになることをおすすめします。

ファームウェアのアップグレードを行う前に

■電池の残量が十分残っていることをご確認ください。
■アップグレードが完了するまでプレーヤーを取り外さないでください。。
■アップグレードの途中では絶対にプレーヤーの電源を切らないでください。
■プレーヤー内のファイルのバックアップを行ってください。

1 プレーヤーをパソコンの USB 端子に接続します。

インターネットに接続しているパソコンをご使用ください。

2 iriver plus 2 を起動して、［オプション］－［ファームウェアのアップグレード］を選択します。

3 確認のメッセージ画面で「はい」をクリックすると、自動的にファームウェアのアップグレードが行われます。

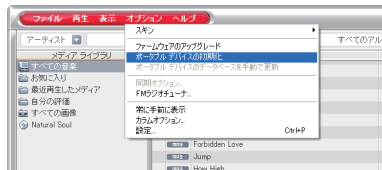
プレーヤーのフォーマット（初期化）

• プレーヤーのメモリに保存されているデータを完全に消去し初期化します。ファームウェアに異常が発生した場合や、電源を入れたときにエラー画面が表示される場合にも、プレーヤーをフォーマットすることで問題が解決できることがあります。

プレーヤーのフォーマット（初期化）を行う前に

■消去したデータを復旧することはできません。
■フォーマットが完了するまでプレーヤーを取り外さないでください。。
■フォーマットが完了するまでプレーヤーの電源を切らないでください。
■プレーヤー内のファイルのバックアップを行ってください。

1 プレーヤーをパソコンの USB 端子に接続します。

2 iriver plus 2 を起動して、［オプション］－［ポータブルデバイスの初期化］を選択します。

3 確認のメッセージ画面で「はい」をクリックすると、フォーマットが行われます。〉

困ったときは

困ったこと	対処方法
電源がオンにならない	バッテリが不足していないか確認してください。（→ **P.9**）
パソコンを使わずに充電をしたい	別売りの「USB/AC アダプタ」をご使用ください。コンセントから充電することができます
音楽をプレーヤーに転送できない	オーディオ CD から直接プレーヤーに音楽ファイルを転送することはできません。パソコンに録音し、iriver plus 2 を使って転送してください。詳しくは iriver plus 2 の取扱説明書をご覧ください。
	N12 直下（ROOT）に、約 100 以上のファイルを転送した場合、「writing file」と表示され、転送できなくなります。この場合は任意でフォルダを作成し、そこにファイルを格納してください。
音楽ファイルの転送に失敗する	バッテリ残量を確認してください。（→ **P.9**）また、パソコンとしっかり接続されているか確認してください。
前／次の曲が再生できない	学習機能がオンになっていると、前／次の曲が再生されません。学習機能をオフにしてください。→ **P.43**
ラジオの受信状態が悪く、雑音がひどい	周辺にある電気機器の電源を入れたときに雑音がする場合は、電気機器から離れたところで動作してみてください。
	イヤホンのコードはラジオ受信中のアンテナの役割をします。イヤホンがプレーヤーに接続されていないとラジオの受信状態は悪くなります。

困ったこと	対処方法
楽曲情報の取得、Gracenote の登録、iriver plus 2 のアップデートができない	パソコンにセキュリティソフトがインストールされている場合、セキュリティソフトのファイアーウォール・プログラム制御という機能により、iriver plus 2 の自動的なインターネットアクセス機能が制限されて、オーディオ CD の楽曲情報を取得できない、iriver plus 2 のアップデートを行えない、という状態になります。 Norton Internet Security を導入されている場合、下記手順により制限されているアクセスを許可することが可能です。 （Norton Internet Security2004、2005、2006 の場合） ❶ Norton Internet Security の画面を開く ❷「ファイアウォール」をクリックして、「設定」をクリックする ❸「ファイアウォール」の設定画面で、「プログラム制御」タブをクリックする。 ❹表示された画面の下のプログラム一覧から iriver plus 2、iriver Agent のインターネットアクセス状態を「すべて遮断」から「すべて許可」に変更する ❺画面下の OK ボタンを押し、ファイアーウォール設定画面を閉じ、Norton Internet Security の画面を閉じます 尚、iriver plus 2 のバージョンアップを行うと再度設定を求められる画面が表示されます。この場合には「常に許可する」に設定を行って下さい。

困ったこと	対処方法
音楽配信サイトで購入した楽曲が再生できない	音楽配信サービスで購入した楽曲をアイリバーのプレーヤーで再生するには、ファイル形式が「WMA 形式」であることが条件となります。 ※再生対応ファイルは Windows Media Audio V7 コーデック以降の WMA ファイルになります。 Yahoo! ミュージック、Mora、Sony Music Online（bitmusic）、iTunes Music Store から購入された楽曲の再生には対応いたしておりません。
WMA ファイルが再生できない	WMA ファイルに著作権保護がかけれている可能性があります。ライセンス情報を正しく転送してください。ライセンス情報は Windows Media Player で確認できます。
iTunes で録音した音楽ファイルが再生できない	iTunes の標準設定で作成された形式の音楽ファイル（AAC）の再生には対応いたしておりません。 iTunes メニューの［編集］—［設定］—［詳細］タブ—［インポート］タブ—［インポート方法］を［MP3 エンコーダ］に変更して、再度音楽 CD からインポート（録音）を行ってください。
電源が入らなくなった、プレーヤーが反応しなくなった（フリーズしてしまった）。	本体底面にあるリセットボタンを押してください。 MIC　RESET

ユーザーサポート　http://www.iriver.co.jp

• iriver の Web サイトの「製品サポート総合案内」には、製品別に Q&A（よくある質問）が用意されています。また、ファームウェア、ソフトウェア、取扱説明書などの最新版をダウンロードすることもできますので、問題解決にぜひお役立てください。

1. 製品保証書の記入事項

本製品のパッケージには、製品保証書が同梱されております。お買い上げの際は必ず販売店より［購入日］と［販売店印］欄などの記入をお受けください。
製品保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。また、製品保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください。

2. 修理をご依頼の前に

本書の「困ったときは（**P.46**）」、iriver の Web サイト (http://www.iriver.co.jp) の Q&A（よくある質問）をよくお読みいただき、それでも解決しない場合にはアイリバー・ジャパン サポートセンターまでご相談ください。

3. 付属品・オプション（別売）をお求めの場合

付属品やオプション（別売）のご購入を希望される方は、アイリバー・ジャパン サポートセンターの通販窓口までお問い合わせください。
直販サイト（http://www.iriver.co.jp/estore/）でもご購入いただけます。

アイリバー・ジャパン サポートセンター　0570-002-220

受付時間：**月〜金**（祝祭日・年末年始を除く）**10:00〜18:00**
ホームページアドレス：http://www.iriver.co.jp

E-mailでのお問い合わせは
ホームページのメールフォームを
ご利用ください

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-12-5　早川トナカイビル6F

誠に恐れ入りますが、年末年始などのサポートセンター休業日にはお電話をお受けできない場合もございますのであらかじめご了承ください。また、サポートセンターの電話が通話中の場合、誠に恐れ入りますがしばらくたってからおかけ直しいただけますようお願い申し上げます。

仕様

メモリ	512 MB*	1 GB*	2 GB*
モデル No.	N12 512MB	N12 1GB	N12 1GB

* メモリの一部をシステム領域として使用しているため、搭載しているメモリすべてを記憶領域として利用できるわけではありません。

<table>
<tr><th>分類</th><th>項目</th><th colspan="3">仕様</th></tr>
<tr><td rowspan="3">オーディオ</td><td>周波数範囲</td><td colspan="3">20 Hz ~20 KHz</td></tr>
<tr><td>ヘッドホン出力</td><td colspan="3">（L）14 mW +（R）14 mW（16 Ω）最大ボリューム時</td></tr>
<tr><td>S/N 比</td><td colspan="3">90 dB（MP3）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">FM ラジオ</td><td>周波数特性</td><td colspan="3">± 3 dB</td></tr>
<tr><td>チャンネル数</td><td colspan="3">ステレオ（左右）</td></tr>
<tr><td>FM 周波数範囲</td><td colspan="3">76.0 MHz ~108 MHz</td></tr>
<tr><td>S/N 比</td><td colspan="3">60 dB</td></tr>
<tr><td>アンテナ</td><td colspan="3">ヘッドホン / イヤホンのコードアンテナ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ファイルの
サポート</td><td>ファイルタイプ</td><td colspan="3">MPEG 1/2/2.5 Layer 3、WMA、OGG</td></tr>
<tr><td>ビットレート</td><td colspan="3">MP3/WMA ※ : 8 Kbps ~ 320 Kbps、OGG : Q1~Q10</td></tr>
<tr><td>タグ情報</td><td colspan="3">ID3 VI、ID3 V2.2.0、ID3 V2.3.0、ID 3 V2.4.0</td></tr>
<tr><td rowspan="2">音声録音</td><td rowspan="2">最大録音時間
（32Kbps）</td><td>512 MB</td><td>1 GB</td><td>2GB</td></tr>
<tr><td>約 36 時間</td><td>約 72 時間</td><td>約 144 時間</td></tr>
<tr><td rowspan="3">本体</td><td rowspan="2">寸法</td><td colspan="3">27.2（W）x 49.8（D）x 13.3（H） mm（本体のみ）</td></tr>
<tr><td colspan="3">27.2（W）x 62.5（D）x 13.3（H）mm（A タイプイヤホンを含む）</td></tr>
<tr><td>重量</td><td colspan="3">22 g（内蔵バッテリを含む）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">一般仕様と
作業環境</td><td>画面</td><td colspan="3">4 行表示 16 階調有機 EL ディスプレイ</td></tr>
<tr><td>言語</td><td colspan="3">40 言語</td></tr>
<tr><td>バッテリ</td><td colspan="3">リチウム ポリマー充電池</td></tr>
<tr><td>動作温度</td><td colspan="3">-5 ℃ ~ 40 ℃</td></tr>
<tr><td>連続再生時間</td><td colspan="3">約 13 時間
（128 Kbps、MP3、ボリューム 20、EQ Normal、画面 オフ、フル充電 ）</td></tr>
</table>

※可逆 WMA 非対応

著作権

認証

本製品は以下の認証規格を取得しています。

CE、FCC、MIC

免責条項

お客様が本製品を誤用したため、あるいは不適切な操作をしたことによる人身事故や他の損害など、偶発的な被害が発生した場合、製造業者、輸入業者、およびディーラーは、このような損害に対して責任を負いかねます。本書の情報は現行の製品仕様に基づいています。製造業者である iriver 社は、本製品に新機能を追加しており、今後も引き続き新技術を適用して参ります。予告なく、仕様を変更することがありますので、ご了承ください。

登録商標

- iriver は、大韓民国およびその他の国における iriver Limited の登録商標であり、ライセンスに基づき使用されます。
- Windows 2000、Windows XP、および Windows Media Player は、Microsoft 社の登録商標です。
- SRS（●）® は、SRS Labs, Inc. の登録商標です。
- その他記載のシステム名、製品名および会社名は各開発メーカーの商標または登録商標です。